

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」蛸池駅前校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			スペースをうまく分割し、活用しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令を遵守した配置です。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		現在利用されている児童については配慮されている部分があるが、トイレ等改善が必要。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		事業所内で会議・面談を実施し、業務改善につなげています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者アンケートを実施し、業務改善につなげています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			評価の結果を踏まえ、業務改善に向けた見直しを行い、事業所に掲示するとともにHPに公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者の外部評価を行っていない。会社と検討していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			貴社の関連事業の発達支援研究所と連携して、ZOOM を活用し、定期的に研修を行っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを元に課題を分析し、個々の発達・特性に応じた個別支援計画の作成に努めています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントツールを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		指導員とマンツーマンなので個別で行うことは多いが、児発管や他指導員からの助言を行って立案することも多々あります。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			日々の利用児の状況に合わせて活動プログラムを実施しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇は状況に合わせて利用回数等調整を行うこともあるが、支援内容は平日・休日問わず、本人のニーズに合わせて設定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		児童の状況によって作成することも検討していきます。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		朝のミーティングを実施しを検討していきます。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		毎日その日の振り返りや翌日の予定の確認を行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		毎回記録を取り、支援内容の改善に活かしています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		6か月以内にモニタリングを実施し、個別支援計画の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか		○		発達支援が主になってはいるが、必要に応じて家族支援・地域支援も組み合わせています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		必要に応じてこどもの状況うに精通したものが出席しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		保育所等訪問支援も活用しながら適宜行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	当該児童が不在です。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		保育所等訪問支援等を通じて連携を図っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		保育所等訪問支援等を通じて連携を図っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		児童発達支援センターや公的機関と随時連携をとっています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後活動機会が作れるか検討していきます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	参加できていないので、今後積極的な参加をしていきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		毎回の支援終了時に保護者の方への振り返りを実施して共有しています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		日々の振り返り時に個別では行っているが、今後ママカフェなど就職や進路、子供へのかかわり方についてん実施を検討していきます。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			適宜丁寧な説明をさせていただいています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日々の支援終了後やモニタリング時、事業所内相談等で対応しています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後ママカフェなど就職や進路、子供へのかわり方について実施を検討していきます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情自体はほとんどないが、要望的なことも記録していきます。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	定期的な会報等の発行を検討していきます。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付き書庫に適宜保管しています。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			利用児の特性に配慮した環境や支援を提供しています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域の方が参加できる行事等検討していきます。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルはあるが想定訓練ができていないものがあるので、適宜実施を検討していきます。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			訓練は毎月実施しているので、計画・報告の掲示を行っています。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に1回以上、法人内事業所と合同で研修を行っています。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束について正しい理解を持つ研修を行い、まだ実施する場面はないが、やむを得ない場合は、必ず組織的に決定し、子どもや保護者の同意を得て個別支援計画にも記載し、実施した場合は記録も取ります。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アセスメント時に聞き取りをしています。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	ヒヤリハットを挙げる件数が十分とは言えないので、件数を増やし、事例集の作成、共有していく。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」蛍池駅前校

保護者等数（児童数）：41 回収数：24 割合：58.5 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	7		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	5	14	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的分野を持つ先生がいるとさらにありがたい。 ・もう少し人数が多くてもよいと思う。 ・専門性は不明。 ⇒専門的な知識を持つ指導員が望ましいので、現任指導員の知識を高めるよう努力していきます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	6		
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	22	1	1	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	21	2	1	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		11	12	回答なし 1
保護	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	2	1	

者 へ の 説 明 等	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	3	1	・利用回数がまだ浅いので、これからもいろいろお話していただきたいと思っています。 ⇒こちらもいろいろとお話が聞けたらと思います。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	2	1	・利用回数がまだ浅いので、これからもいろいろお話していただきたいと思っています。 ⇒こちらもいろいろとお話が聞けたらと思います。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	10	13	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	5	2	・特に苦情なし（保護者の方の記載） ⇒ありがとうございます。要望も積極的に取り入れていきたいと思っています。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	2	1	・利用回数がまだ浅いので、これからもいろいろお話していただきたいと思っています。 ⇒こちらこそ、いろいろとお話が聞けたらと思います。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	4	7	回答なし 1
	⑭	個人情報に十分注意しているか	23	1		
非 常 時 等 の 対 応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	19	4	1	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	6	3	回答なし 1
満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	19	3	1	・ 回答なし 2 ・ 毎回教材など工夫していただきとても刺激があり楽しいようです。 ・ 先生のこと大好きでとてもなついています。 ・ 以前は連れて行くのが大変なくらい通所を嫌がっていたのが、活動を工夫してもらって、今や嫌がることなく通所できるようになってすごうれしいです。 ⇒ありがとうございます。職員の励みになります。今後も子どもたちが楽しく通ってもらえるように鋭意努力していきます。

	⑬	事業所の支援に満足しているか	21	3	1	<p>・コロナウイルス感染懸念のため、遠隔支援での対応をしていただいたり、学校のことを相談した時も一緒に考えてくださったりと、大変心強く感謝しております。子どももその都度ステップアップでき、嬉しく思っています。</p> <p>⇒ありがとうございます。今後も状況に応じてコンプライアンスを守りながら、臨機応変に対応していきたいと思います。</p>
--	---	----------------	----	---	---	--

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。